

令和5年度「課題研究」シラバス	単位数	2単位
	学科・学年・学級	園芸工学科 第2学年 2組

1 学習の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を身に付ける。

2 学習到達目標等

学習の到達目標	①農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身につけるようにする。 ②農業に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として解決策を探求し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 ③課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
使用教科書・副教材等	「農業と環境」実教出版

3 履修に際してのアドバイス・注意事項

- ・コース I で学んだ、各コースの知識や技術を活用し、栽培や活用における課題を見つけ解決に取り組む授業になります。
- ・コース I 及び、総合実習で取り組む単元やプロジェクト学習と関連して授業を行う場面があります。
- ・実習が中心となる授業で、パフォーマンステストが評価対象となりますが、授業でのワークシート、レポート等の記録も評価へ反映されることを意識して下さい。

4 科目全体の観点別評価の基準及び評価の方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価配分の合計
趣旨	農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身につけている。	農業に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として解決策を探求し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身につけている。	課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。	

令和5年度 課題研究 シラバス	単位数	3単位
	学科・学年・学級	園芸工学科 第3学年 2組

1 学習の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 学習到達目標等

学習の到達目標	①農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。 ②農業に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 ③課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
使用教科書・副教材等	なし

3 履修に際してのアドバイス・注意事項

農業各分野の将来のスペシャリストに必要な問題解決能力や自己教育力などを育成するとともに、「農業と環境」をはじめとするプロジェクト学習や各分野の専門科目の学習と関連付けて考え、考察する力を養い、実践的・体験的な学習を行うことなどを通して、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。

- ・「調査・研究・実験」「作品制作」等自ら課題を設定する。
- ・自ら学び、考え、主体的に判断し実践することで科学的根拠に基づいて課題の解決を図り、目標や問題に取り組む姿勢や取り組み方を学ぶ。
- ・グループ活動での共同作業による主体性・協調性・対話力(コミュニケーション能力)の育成と多くの考えを組み合わせる職業人としての編集能力を学ぶ。

4 科目全体の観点別評価の基準及び評価の方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価配分の合計
趣旨	農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けている。	農業に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身につけている。	課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、農業の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	

- 課題の設定……一年間の学習計画と設定された目標・内容で評価。
- 取組状況……計画の実行状況を日々評価。
- 目標達成度……計画の達成度で評価。
- 記録簿提出……最終的に提出された記録簿に5段階で評価。